

第3回 調布市環境基本計画等改定委員会【令和2年10月21日（水）開催】

第3回改定委員会では、「調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の調布市の「目指す将来像」や、「長期目標」について議論しました。

① 目指す将来像について

市の案をもとに皆さんに議論していただきました。

【案】

めざそう脱炭素のまち調布
～ひとりひとりの“かしこい選択”がつくる
まち・暮らし～

② 調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の長期目標について

案1, 案2のいずれがよいか議論していただきました。

【案1: 国の目標】今世紀後半のできる限り早期に

【案2: 東京都の目標】2050年に

※内容は会議開催時点のものです。

主な意見

一人ひとりが環境に興味を持ってもらえるような言葉にしたい

「未来」や「子どもたち」といった言葉があるとよいのではないかな

主な意見

目標期限はあいまいにせず明確な表現にした方がよいのではないかな

国や事業者全体と足並みをそろえた目標の方がよいのではないかな

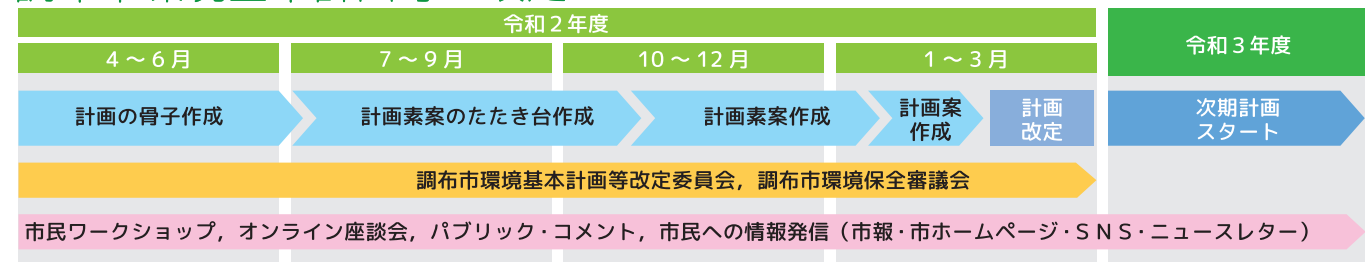


トピックス

パブリック・コメントを実施します

「調布市環境基本計画」, 「調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定にあたり, 幅広いご意見をいただくため, 令和3年1月20日からパブリック・コメントを実施します。詳細は市報1月20日号及び市ホームページをご確認ください。

調布市環境基本計画等の改定スケジュール



※上記スケジュールは状況により変更となる場合があります。

これまでの調布市環境基本計画等改定委員会の内容は, 右のQRコードから市HPをご覧ください。



調布市では, 調布市環境基本計画等の改定について,

「調布市環境基本計画等改定ニュースレター」を通じてお知らせしていきます。

編集・発行: 調布市環境部環境政策課

【TEL】042-481-7086 【FAX】042-481-7550

【E-mail】kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp



リサイクル適性 A

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

調布市環境基本計画等改定 ニュースレター

第3号

令和2(2020)年
12月発行

刊行物登録番号
2020-130

調布市環境基本計画・調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定に向けて

調布市では, 環境施策を束ねるマスタープランである「調布市環境基本計画」及び市民・事業者・市が地域の地球温暖化対策を推進するために策定した「調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定作業を進めています。

今回, with コロナの環境の中で, 多くの市民の皆さんから今後の環境に関する取組についてのアイデアをいただくため, 令和2年10月に「メール等でのアイデア募集」「対面型ワークショップ」「オンライン座談会」をそれぞれ実施しました。また, 改定に当たり, 10月21日に第3回調布市環境基本計画等改定委員会を開催しました。

第3号のニュースレターでは, それらの開催結果をご紹介します。



調布市地球温暖化対策啓発キャラクター ゴヤたん



『未来につなぐ調布の環境～みんなで作ろう これからのちょうふ～』を開催しました。

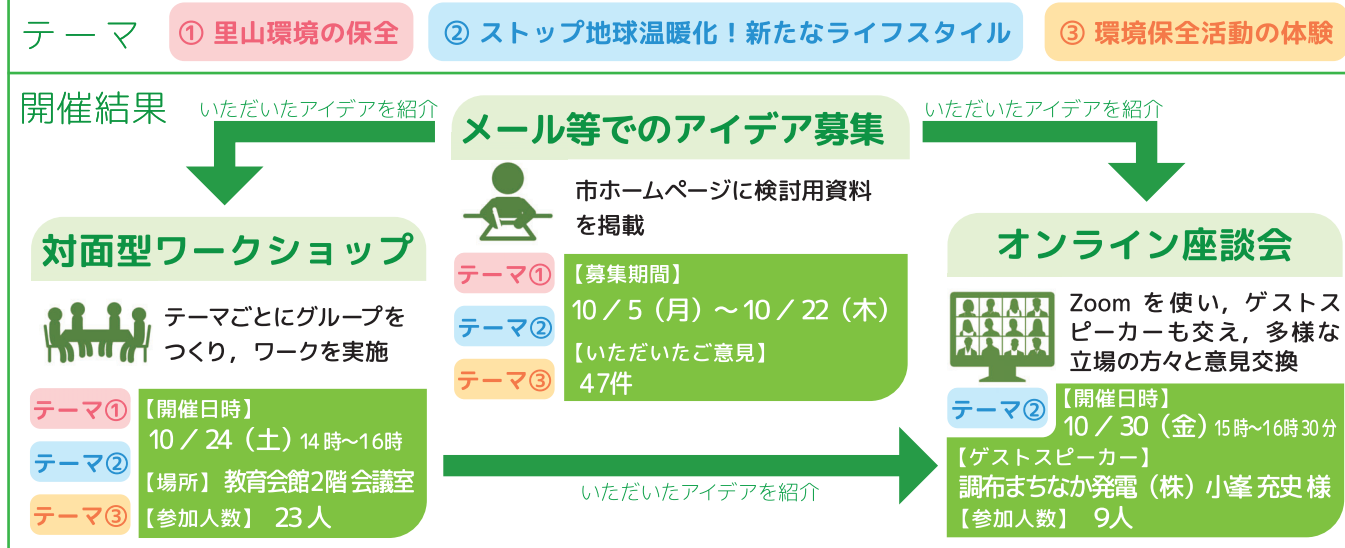
多くの市民の皆さんから今後の環境に関する取組についてのアイデアをいただくため, 以下の3つの市民参加の手法によりご意見をいただきました。

実施に当たっては, 調布市環境基本計画中間報告会(令和2年1月25日開催)のワークショップの意見や, 第1・2回 調布市環境基本計画等改定委員会の意見を取り入れました。

メール等でのアイデア募集

対面型ワークショップ

オンライン座談会



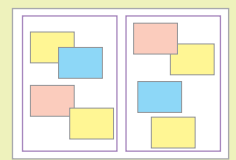
計画改定に当たりアイデアを活用

『未来につなぐ調布の環境 ～みんなで作ろう これからのちょうふ～』

調布市環境基本計画等の改定に向け、市民の皆さんから3つのテーマについて多様な手法により、今後の環境に関する取組についてのアイデアをいただきました。ここでは、「メール等でのアイデア募集」の一部、「対面型ワークショップ」でいただいた「いちおしのアイデア」、「オンライン座談会」の当日の様子やいただいた意見の一部を紹介します。

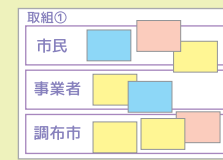
対面型ワークショップ メール等でのアイデア募集でいただいたご意見を参加した皆さんと共有し、2つのワークをすすめました。

ワーク 1 各テーマごとの市が考える課題について、取組のアイデアを付箋に書き出す。



いちおしアイデアを決定

ワーク 2 市民、事業者、市がアイデアを実現するためにできることを書き出す。



▲ワーク1の様子



▲ワーク2の様子

里山環境の保全

【課題】

- ▶ 里山の魅力を発信し、保全活動への新規の参加者を増やすには？
- ▶ 樹林地、水辺、農地が一体となった環境を守っていくためには？

主に子どもと取り組めるイベント、農地の活用といったアイデアが出されました。

【メール等でいただいたアイデア】

- ☑ 調布駅前広場でのプロモーション活動（ポスター掲示）をする。
- ☑ 里山、森林についての講習を実施する。
- ☑ 小学生向けの米づくり体験・畑での野菜づくり（援農体験）を行う。

【対面型ワークショップでいただいたアイデア】

- 里山の自然を体験できるようなイベントを開催する。
- 普段からできる簡単な取組を発信する。
- 子どもたちが体験できる機会を増やす。
- 水辺に親しめる場所を増やす。

【対面型ワークショップ いちおしのアイデア】

みんなで作る“ふるさと”

アイデアの概要	調布の自然環境を大切にしながら循環型の地域を後世に残そう！
市民ができること	・子どもと一緒に参加する。 ・調布の在来種を守り育てる。
事業者ができること	・無農薬栽培を進める。 ・農業従事者を育成する。
調布市ができること	・PR、情報発信する。 ・市民活動の支援を進める。

ストップ地球温暖化！ 新たなライフスタイル

【課題】

- ▶ 住居や車等から排出される二酸化炭素を減らす暮らし方は？
- ▶ エネルギーや温暖化について効果的な情報発信は？
- ▶ 暮らしの中で異常気象や熱中症対策を進めるには？

エネルギー、食、農等を関連付けたアイデアが出されました。

【メール等でいただいたアイデア】

- ☑ 新築建物の低炭素化を進める。
- ☑ 自転車で安全に移動できるようなまちづくりをする。

【対面型ワークショップでいただいたアイデア】

- 集合住宅の断熱化を進める。
- 省エネ機器の適切な情報を提供する。
- 新築住宅の低炭素化を進める。
- 災害時に、地域全体でエネルギーを供給する。

☑ 地産地消を推進する。

☑ 再エネ設備を設置して災害時のエネルギーを確保する。

【対面型ワークショップでいただいたアイデア】

- 増改築時に省エネ住宅にする。
- 地産地消で輸送CO₂を減らす。
- 脱炭素の見える化を進める。

【対面型ワークショップ いちおしのアイデア】

ゼロカーボン※ショールームづくり

アイデアの概要	学校、事業所、カフェ等をゼロカーボン施設にし、ショールームのように活用しよう！
市民ができること	・住宅に緑のカーテンを設置する。 ・家庭の取組アイデアコンテストを実施する。
事業者ができること	・オフィスビル、カフェ等の施設をゼロカーボン化する。
調布市ができること	・ゼロカーボンシティ宣言をする。 ・学校をゼロカーボン化し、学校教育にエネルギー教育を取り入れる。 <small>※ゼロカーボン：CO₂の排出量を実質ゼロにすること。</small>

【対面型ワークショップ いちおしのアイデア】

エネルギーと食の地産地消

概要	市もしくは市の近くで発電されたエネルギーを使い、地元の農産物を積極的に活用しよう！
市民	エネ子・農 ・地元の電力会社を選ぶ。 ・農家と協力して生ごみゼロに取り組む。
事業者	エネ子・農 ・エネルギー消費を削減する。 ・再エネへ転換する。 ・地元の野菜をスーパーで取り扱う。 ・都市農地でソーラーシェアリングをする。
調布市	教育・助成 ・学校給食の食材を地元の有機栽培の食材に変更する。 ・住宅の断熱改修方法の講座の実施や補助金交付をする。

環境保全活動の体験

【課題】

- ▶ 環境教育・環境学習を充実させるには？
- ▶ 子どもたち・若い世代に情報を届け、活動に参加できるようにするには？
- ▶ 活動に関心があって、参加していない方が気軽に参加できるきっかけをつくるには？

情報の集約、活動の見える化、親子でのイベント参加といったアイデアが出されました。

【メール等でいただいたアイデア】

- ☑ 親子で体験できる機会をもっとつくる。
- ☑ 学校の授業参観時に親も参加できる体験授業を行う。
- ☑ 環境活動の記録（場所・時間・内容）、今後の活動予定を地図上（web上）にわかりやすくまとめて発信する。

【対面型ワークショップでいただいたアイデア】

- 親子で参加できるイベントを実施する。
- 飛び込み参加、事前申し込みのいらぬイベントを増やす。
- 学校教育に自然体験等を取り入れる。

【対面型ワークショップ いちおしのアイデア】

親子で楽しむ環境体験

アイデアの概要	親子で活動に参加し、活動をひろげよう！
市民ができること	・活動を動画配信する。 ・環境ボランティア手帳を作成する。 ・親子で参加しやすいイベントを実施する。
事業者ができること	・駅前等で環境活動の宣伝をする。
調布市ができること	・環境活動体験やイベントを集約したホームページや地図をつくる。 ・go to 環境のような施策を行う。

環境のための地域通貨を発行・運用する。

オンライン座談会



調布まちなか発電（株）
（非営利型事業者）
小峯充史 氏

調布市内の公共施設で再エネ事業を展開しています。今後は再エネに取り組みやすい地域に投資し、調布市で電力を得るような仕組みづくり等に取り組みたいと思っています。

ゲストスピーカーに調布まちなか発電（株）の小峯充史様をお招きし、調布市内の再エネ事業の取組を中心とした活動紹介をいただきました。その後、参加者と一緒に「住宅や事業所への再エネを促進するための取組」について意見交換しました。

参加者の主な意見

- 再エネ導入のメリットを発信する。
- 気候変動と食の繋がりを発信する。
- 地元電力の購入方法を発信する。
- 住宅や事業所のできる、身近な取組を発信する。
- 学校教育にエネルギー教育を取り入れる。
- 貢献度の見える化を進める。